

田辺周辺広域市町村圏組合一般廃棄物処理施設 第5回用地選定検討委員会  
会議録（概要版）

【日時】 令和7年6月26日（木） 14時00分～15時50分

【場所】 西牟婁総合庁舎 4階大会議室

【出席者】

（委員）

学識経験者 吉田登、櫻井祥之、八鍬浩、土永知子

住民代表 野村悠一郎、田中晴好、來栖末美、田中利典

（オブザーバー）

構成市町廃棄物担当課長 井澗伴好、阪口好文、榎本崇広、笠松由希、長澤哲治

（事務局）

田辺周辺広域市町村圏組合 清水局長、古久保主任、孫本主査

（技術支援業務受託者）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 2人

【欠席者】

住民代表 瀧本美奈

【内容】

1. 開会
2. 委員会スケジュールについて
3. 2次選定結果について
4. 3次選定の考え方（案）について
5. パブリックコメントの募集について
6. 第6回委員会の開催方法について
7. 閉会

## 1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶を行った。
- ・委員長より挨拶。

## 2. 委員会スケジュールについて

事務局 委員会スケジュールについて説明した。前回委員会からの変更点はない。

## 3. 2次選定結果について

事務局 2次選定結果について説明した。

委員長 (2.5haのイメージ図を確認して)一定の絞込みをされているように思えるが、2.5ha以上の面積で見れば残存区域が多い。海岸沿いにおいては除外された区域が多く思えるが、細かく確認すれば残存している箇所がある。1次選定及び2次選定の結果、相当数の区域が残っていることを委員会としても認識してもらいたい。

## 4. 3次選定の考え方(案)について

事務局 3次選定の考え方(案)について説明した。

委員長 P.3 絞り込みにおける「施設等」について、2次選定で評価しきれていない施設は何かがあるか。

事務局 2次選定では、病院は病床数20未満の施設、福祉施設は入床を伴わないものを考慮していなかった。また、住居も考慮できていない。2次選定段階では対象数が多く、全域で絞込みが困難であったため、3次選定の絞込み段階で詳細に確認をしたいと考えている。

委員長 3次選定の絞込み項目のうち、どれが最も影響が大きいのか。

事務局 構成5市町の人口重心による絞込みが最も影響がある。

委員長 人口重心からの距離を10kmと想定した根拠は何か。

事務局 収集運搬効率を考慮して、10kmが妥当と考えた。

委員 白浜町は観光地であり、特に夏季は観光客が多い。観光客の増減を考慮されないのか。

事務局 構成5市町の人口は、総務省のデータを使用しているが、観光客の変動は想定しがたい。また、一般廃棄物処理施設ということで、観光客由来のごみも一部処理するが、住民のごみ処理を重視している。

委員長 人口重心に加えて、一人一日当たりごみ排出量のウェイトを考慮した場合の重心位置は考慮可能であるか。

委員 ホテルから排出されるごみは、家庭系と同様に収集運搬・処理しているのか、それとも独自に処理しているのか。

ワグザバー 家庭系ごみは市町が収集している。ホテルからの廃棄物は事業系一般廃棄物として処理しており、許可業者が収集している。人口重心に加えて、ごみ排出量による差を考慮することも考えられる。

田辺市では一部の民泊は家庭系に含むことがあるが、多量に排出する場合は、事業系一般廃棄物としている。

ワグザバー 白浜町においても、田辺市と同様の処理方針である。ごみ排出量による重心を決めるにあたり、観光客の排出するごみは交付金対象にしないことがある。また、白浜町はプラスチック類を可燃ごみとしていることから、ごみ量ベースの重心には留意が必要である。

委員 家庭系と事業系で排出状況が異なることから、そのことを加味して検討いただければと考える。

委員長 厳密には、事業系ごみの排出個所は人口重心と合致しないが、人口重心にごみ排出量を考慮できないか、ご検討いただきたい。

副委員長 住民の居住状況を評価するため、人口重心による絞込みとし、ごみ量については収集運搬費用の検討で考慮すればよいのではないか。

委員長 収集運搬費の検討において、事業系ごみの収集運搬は考慮するか。

事務局 当初は家庭系ごみの収集を想定していたが、収集運搬費用において事業系ごみの収集運搬費用を考慮することとする。

委員 一つの候補地の中で複数の施設位置候補が出てくるか。

事務局 施設位置は、候補地の土地条件を総合的に判断して、一つの候補において一つの施設位置を決めることを想定している。

委員 下水道接続が不可能な場合、排水クローズドにより想定されるコストは発生しないのか。

事務局 厳密には減温塔の設置等、詳細な設備が必要になる。

PCKK 減温塔という水噴霧設備や、設備設置のための建屋拡大などが必要になる。しかし現時点で当該費用を詳細に積算することが困難である。

副委員長 減温塔の説明があったが、補足すると減温塔は（ダイオキシン類の再合成を防止するため）排ガスを（200℃以下に）急冷するために設置され、主に施設の排水を再利用して噴霧していた。最近の施設では減温塔は設けず、ボイラー後段のエコマイザーで熱回収することで排ガスを（200℃以下に）急冷することが可能となった。下水道接続と排水クローズドを厳密に比較する場合には、減温塔の設置及び再利用水噴霧設備の建設費・運営費、排ガスを急冷するエコマイザーと通常のエコマイザーの建設費・運営費などの比較も必要と思われるが、あまりにも複雑な検討となるので、今回は事務局案のとおり、発電効率の低下についての評価で良いと考える。

副委員長 評価項目の配点において、評価項目間の重みづけを考慮する必要がある。

委員長 評価項目間の重みづけは、パブリックコメント結果を踏まえて検討されるという理解でよいか。

事務局 絶対評価の場合は◎～×ごとの点数をつけることを考えている。また、パブリックコメントの意見数などを考慮して、配点の重みづけを考慮する想定である。

委員長 土地造成の単価について、出典は明示可能か。  
事務局 コンサルタントの知見や他事例をもとに単価を設定している。  
委員長 「専門家ヒアリング」や「知見に基づく」などの追記を検討されたい。

副委員長 住民持込時の渋滞が課題となる事例がある。幹線道路から施設の間における道路整備状況も評価してはどうか。焼却施設周辺を住民持込の車が取り巻く事例もある。地域の事情にもよると思うが、検討いただければと思う。

事務局 ②経済性 1)建設費 ウィンフラ整備費(アクセス道路)において、周辺道路の状況を評価することを考えている。

## 5. パブリックコメントの募集について

事務局 パブリックコメントの募集について説明した。

委員長 QRコード読み取りによるパブリックコメントにアクセスできないのか。  
事務局 そこまでは想定していない。ホームページ上での公表のみを予定している。  
委員 どのホームページに公表するのか。  
事務局 組合ホームページに掲載し、各市町のホームページにリンクを掲載する。

副委員長 3次選定の考え方(案)について、経度・緯度は掲載されているが、人口重心の位置は図示されていない。図示した方が見やすいと思うがどうか。

事務局 視覚的に理解してもらいやすくするため、人口重心の図を追加する。

委員長 パブリックコメント(案)と意見提出書様式において施設の呼称が異なるため、修正すること。

## 6. 第6回委員会の開催方法について

事務局 3次選定の考え方の見直し、パブリックコメントの回答について審議する。第6回委員会は公開する。

## 7. 閉会

以上